

小浜大原区防災マップ

最大規模 土砂災害

大原区では最大規模の大雨でも、立退き避難が必要となる家屋は確認出来ませんでしたが、土砂災害に関しては立退き避難が必要な家屋等があるので、いつ・どのような行動をとるのか考えておきましょう

適切な避難行動

避難の種類と行動

避難行動には、①避難所や、近隣の安全な場所(近隣のより安全な場所・建物など)への「立退き避難」、②「立退き避難」をすとかえて危険な場合は、その時点で居る建物内でより安全な部屋などへ移動する「屋内安全確保」、③2階以上の高いところへ避難する「垂直避難」があります。

1 立退き避難 (水平避難)



2 屋内安全確保



3 垂直避難



避難時の心得



火の元(コンロ、暖房器具、タバコ、線香など)と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



動きやすい服装で、必要最小限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。



深さ30cmを超えると自動車は走行困難になります。



浸水すると人はまともに歩けなくなります。



裸足や長靴は危険です。紐付きなどの脱げにくい運動靴で避難しましょう。



マンホールや排水溝に気づかず吸い込まれる危険があります。避難時には注意してください。

浸水深表示

- 0～0.5m 未満
- 0.5～1.0m 未満
- 1.0～3.0m 未満
- 3.0～5.0m 未満

土砂災害区域

- 特別警戒区域
- 警戒区域

凡例

- 避難所
- 避難場所
- 防災倉庫

土砂災害に注意

一破線内のエリアは、土砂災害が発生すると大きな被害を受ける可能性が高い為、出来る限り早い段階で避難して下さい



マイ・タイムラインをつくってみよう

マイ・タイムラインとは、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画のことです。

警戒レベル	避難情報など	とるべき行動	とるべき行動(例)
5 命を守る最善の行動既に災害が発生している状況	緊急安全確保		・命を守る行動を取る。(近くの建物や自宅の2階など、安全な場所に緊急避難)
4 危険な場所から全員避難	避難指示		・避難場所への移動を完了する。 ・外に出るとかえて危険な場合は、建物の2階へ避難する。
3 危険な場所から高齢者等は避難他の住民は準備	高齢者等避難開始		・避難情報が発令されたら、 へ避難する。 ・親戚などに避難先を連絡する。
2 避難行動の確認	洪水注意報 大雨注意報など		・川の水位や土砂災害の情報をインターネットで確認。 ・携帯電話の充電。 ・自宅の浸水しそうな箇所に土のうを設置。 ・避難生活に必要なものを準備する。
1 災害への心構えを高める	早期注意情報		・天気予報に注意。 ・家の周りに風で飛ばされるものがないか確認。 ・洪水ハザードマップを確認して自宅などの浸水想定を調べる。 計画規模 _____ m 想定最大規模 _____ m

